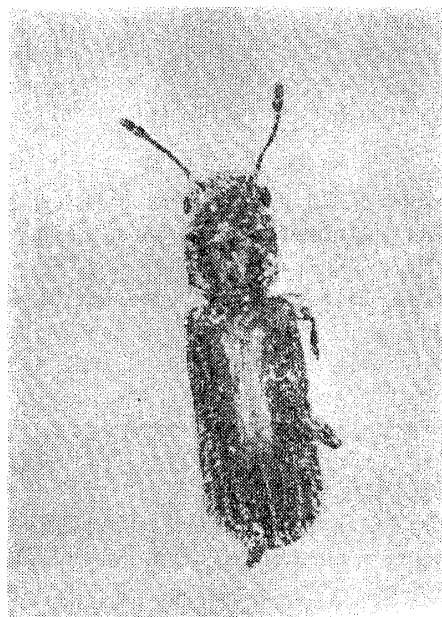


わが国に生息するヒラタキクイムシ科 Lyctidae の害虫 1 種 ケブトヒラタキクイムシ *Minthea rugicollis* Walker 追記

森 八 郎*



ケブトヒラタキクイムシ
Minthea rugicollis Walker

筆者は本誌 No. 5: 11—23 (1976) に、“わが国に生息するヒラタキクイムシ科 Lyctidae の害虫とヒラタキクイムシの Mass culture について”を記載し、1) ヒラタキクイムシ *Lyctus brunneus* Stephens、2) ナラヒラタキクイムシ *L. linearis* Goeze、3) ケヤキヒラタキクイムシ *L. sinensis* Lesne、4) アラゲヒラタキクイムシ *Lyctoxylon japonum* Reitter の 4 種が生息することを報告し、かつヒラタキクイムシの Mass culture に関する筆者の知見を述べ、一般の参考に供したが、その後 (1977) に山根白蟻研究所の山根坦氏が岡山で見なれないヒラタキクイムシを採集したといい、たまたま新幹線で福岡へ西下中の筆者に岡山駅停車中に手渡された。早速車中で同定したところ、ケブトヒラタキクイムシ *Minthea rugicollis*

Walker であり、明らかに岡山県に定着していることを確認したので、ただちに福岡より電話でこの旨山根氏に報告した。したがって、現在わが国にはヒラタキクイムシ科 Lyctidae に属する害虫が 5 種類生息していることになるが、広く一般にはこれらが単にヒラタキクイムシとして同一視されていることがあるので、ここに 5) として追記し、特徴をあげておく。

5) ケブトヒラタキクイムシ

和名 ケブトヒラタキクイムシ

学名 *Minthea rugicollis* Walker

体長 2~3 mm (採集した 6 個体の平均 2.4 mm)。体色赤褐色~暗褐色、背面に黄白色球桿状の太い毛をもつので、この名称がある。頭部は前胸背より幅がやや狭く、複眼は黒色で、横に強く突出している。触角は 11 節で、先端の 2 節が膨大し、2 節合せて長卵形であるが、先端節は次節より長さが長く、幅は次節のほうがわずかに大きい。前胸背の両側縁はほぼ平行し、約 12 個の小歯状突起をもち、列生する球桿状の太い毛はとくに顕著である。後縁はほぼ直線であるが、前縁はかなり凸出する。前胸背中央に凹みをもつ。上翅の幅は前胸背よりやや広いが、長さの 1/2 を越えない。両側縁はほぼ平行し、斜面部でゆるやかに丸くなる。上翅の球桿状の太い毛は、部分的に乱生するところもあるが、だいたい縦条をなし、平行して 1 列に並び、前胸背同様に側方のものが顕著である。早合の区別点については、合の腹部末端節には全面に淡黄褐色の微毛があるが、早合は微毛のほかに後縁部に房状の長毛をもつ。また、前者の下唇茎節には多数の長毛を有するが、後者はこれを欠

* 慶応大学名誉教授

く。

生活史：熱帯地方（マレー）では1世代78～142日で、その長短の違いは主に幼虫期の栄養・温度などによる。平均の発育日数は、卵期7日、幼虫期50日、蛹期12日（前蛹期2.5日、後蛹期9.5）。羽化した成虫は5日くらいで交尾し、その4日後より産卵、1早よりだいたい65匹くらいの子虫を生ずる。成虫の寿命は早では平均28日、古では41日。

加害樹種：ラワン・チーク・パンノキ・ニシキアオイ・キャッサバ・デリスなど24科52属にわたる多種の材のでんぷん含量の多い部分を集中的に加害する。加害樹種がすこぶる多いので、わが国における分布圏が拡大すると、現在日本における代表的木材害虫と見なされているヒラタキクイムシ以上の被害を及ぼすおそれがある。

分布：アフリカ・インド・マレー・ハワイ・南米など熱帯から亜熱帯にかけて広く分布する。わが国においては山崎昭（1965）によると、昭和40年8月5日、大阪中央郵便局でインド仕出のダール豆を検疫したところ、豆を入れた木箱がひどく虫害をうけており、その被害部より本害虫を発見したのがわが国の検疫における最初のものである。^{注)} 尊田望之（1969）によると、九州（鹿児島・

北九州市）、四国（徳島）、岡山においても、その生息が発見されているとのことであるが、筆者はまだ採集していなかったため、記載をさし控えていたが、今回定着を確認したので、ここに追記するしだいである。（害虫が新しい土地に移入され、その環境がその害虫の生息に好適な条件を具備しているときには処女地で大繁殖する事例が多いので、本害虫についても大いに注意を要するものである）。

注) Takemura, Y (1964) “が鹿児島島の自然” で本昆虫を鹿児島県における木製家具の重要な害虫として報告しているとのことであるが、筆者はまだ見ていない。

参 考 文 献

- 1) Browne, F.G. (1938) The common Malayan powder-post beetle, *Malayan Forester* 7 (3): 107-120.
- 2) Gerberg, E.J (1957) A revision of the new world species of powder-post beetles belonging to the family Lyctidae. *Tech. Bull. U.S. Dept. Agri.* (1157): 55.
- 3) 山崎 昭 (1965) 検査で初めてのケブトヒラタキクイムシ。インドからの郵便物の木箱に、神戸植物防疫情報 (412): 125
- 4) Sonda, M. (1969) *Minthea rugicollis* (Walker) breeding in northern Kyushu, Japan. (Coleoptera, Lyctidae). *昆虫* 37 (4): 395-396.

(53. 7. 10 受理)